

クールマルチ (クオリティコントローラ&ハイクオリティコントローラ)

点検コード	異常時の表示	異常内容・意味	要因	対処方法	
L 0	異常時は左記点検コードとUCNoを交互に表示	庫内温度サーミスタ異常 (オープン) 運転中庫内温度が-6.0℃以下の場合	センサコネクタ外れ センサ不良 中継基板の破損	中継基板上のコネクタ「CN101」をチェックしてください。 温度センサを端子台からはずして抵抗値を確認してください。 上記のいずれでもない場合、中継基板を交換してください。	
H 0		庫内温度サーミスタ異常 (ショート) 運転中庫内温度が7.0℃以上の場合	異物などによる短絡 センサ不良 中継基板の破損	センサの配線経路を確認し、異物があれば取除いてください。 温度センサを端子台からはずして抵抗値を確認してください。 上記のいずれでもない場合、中継基板を交換してください。	
L H	U C : ユニッドコントローラ	冷えすぎ防止異常 注1 庫内設定温度 (ユニットOFF点) から、3 K 低下した状態を1分間以上継続するか、設定温度以下の状態を10分間継続した時点の温度よりさらに庫内温度が低下した場合	電磁弁<液>等漏れ 圧力開閉器<低圧>の設定値不具合	電磁弁<液>の詰まり・漏れを確認し、必要に応じて交換してください。 設定値を適正な値に変更してください。	
E 0		外部異常 (冷却運転中) 冷却運転中に異常が発生した場合	ユニットに異常が発生 (高圧 カット・圧縮機サーモ・OCR)	ユニットの異常を取除いてください。	
E 1	外部異常 (霜取運転中) 霜取運転中に異常が発生した場合	ユニットに異常が発生	ユニットの異常を取除いてください。		
C 0	リモコン過電流検出 リモコン電源に過電流が流れた場合				
H H	5.0℃高温警報 注1 庫内温度5.0℃以上を5秒間検出した場合	庫内収容物の過熱等	温度上昇要因を取除いてください。		
H C	高温警報 運転開始後3時間以上経過して庫内温度が設定温度+庫内温度差+高温警報温度差以上を60分連続で検出した場合				
F 0	異常時は左記点検コードとUCNoを交互に表示	システム設定異常 中継基板が同室複数台システムに関する設定異常を検出した場合	システム設定誤り リモコン線の接触不良・断線 など	異常要因を取除いてください。	
F 1		伝送異常	リモコン線の配線不良 (接触不良等)	配線経路を確認してください。	
F 2		リモコンと中継基板の伝送が正常に行われなくなった場合	リモコン線の長さオーバー	所定の配線が使用され総延長2.50m以内になっているかどうか確認してください。	
F 3			リモコン線へのノイズ	リモコンの配線が高圧電線やインバータ等のノイズ発生機器の近くに配線されていないか確認してください・ (高圧電線と平行して配線されている場合は電線管等を用いて分離してください)	
F 4			UC番号設定ミス	UC番号を正しく設定してください	
0 1	左記点検コードのみ 点滅		中継基板の破損	中継基板を交換してください	
0 2			M-N-E-T線の配線不良 (断線・接触不良)	配線経路を確認してください。	
0 3			通信相手側の異常	対象ユニットの電源状態・異常有無を確認してください。	
0 A			M-N-E-Tアドレスの設定ミス	M-N-E-Tアドレスを正しく設定してください。	
d 0	異常時は左記点検コードとUCNoを交互に表示	M-N-E-T通信異常 (伝送異常)	M-N-E-T線の配線不良 (断線・接触不良)	配線経路を確認してください。	
d 2		コンデンシングユニットまたはコントローラとの伝送が途絶えた場合	通信相手側の異常	対象ユニットの電源状態・異常有無を確認してください。	
d 3			M-N-E-T通信異常 (アドレス二重)	M-N-E-Tアドレスの設定ミス	M-N-E-Tアドレスを正しく設定してください。
d 1					

ハイクオリティコントローラ専用

異常コード	異常項目
0100	外部異常 (詳細不明)
3180	高温警報
3181	冷えすぎ防止異常
3182	5.0℃高温警報
5182	庫内温度サーミスタ異常
6600	M-N-E-T通信異常
6831~6834	リモコン通信異常
7109	M-N-E-T通信異常